

平成 2 7 年 度 決 算 に 係 る
定 期 監 査 調 査 書

平成 2 8 年 2 月

倉吉総合看護専門学校

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	4 頁
8	収入事務処理状況調べ	4 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	6 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	6 頁
11	不納欠損額調べ	6 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	7 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	9 頁
14	財産に関する調べ	9 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	12 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	13 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	13 頁
20	備品の処分状況調べ	13 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	14 頁
22	当該年度における業務の概要	15 頁
23	学生の入退学等移動状況調べ	18 頁
24	学校卒業者の就職等状況調べ	19 頁
25	教育計画とその実績	19 頁
26	主な施設の整備状況調べ	19 頁
27	意見、要望	20 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

局（所）名	課名	係（班）名	課の主な所掌事務
倉吉総合看護専門学校			看護師・助産師として必要な知識及び技能を習得させるための事務

4 職員の定員、現員調べ

（平成28年 2月 1日現在）

区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	27.4.1現在	当該年度	27.4.1現在	当該年度	27.4.1現在	当該年度	27.4.1現在	
定員	2	2	20	20	0	0	22	22	
現員	2	2	(3) 21	21	0	0	23	23	育休：H27.7.5～、H27.7.24～ H27.11.9～
過不足(△)	0	0	1	1	0	0	1	1	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	0	27	26	0	0	28	26	外部講師24、助産学科講師1 舎監1、育休代替2

5 役付職員の調べ

（平成28年 2月 1日現在）

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
校長	(兼) 井藤 久雄	2	10	本務 厚生病院長
副校長	中田 映子	0	10	
教務課長兼教務主幹	初田 玲子	0	10	3年10月
次長	(兼) 谷本 真二	5	10	出納員 中部療育園次長兼務
教務主幹	西川 淳子	0	10	13年10月
教務主幹	古磯 祥子	2	10	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概 要
<p>倉吉総合看護専門学校費</p> <p>決算見込額 54,897千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>使用料及び手数料 19,056千円</p> <p>一般財源 25,934千円</p> <p>その他 9,907千円</p> <p>○政策項目 学生の確保</p>	<p>1 学校のPR・学生の確保</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 看護職員不足が深刻化する中、一人でも多くの看護職員を養成するため、県民に学校の存在や魅力をPRすると共に優秀な入学志願者の募集に力を入れ、入学定員の確実な確保を図る。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オープンキャンパスを開催した。1回 参加者数102名 ○本校PRのため県内高等学校・看護学校等の訪問を実施した。施設数のべ 23施設 ○高等学校等で実施の進学相談会に参加しPRを行った。6回 参加者数 76名 ○社会人入学制度のPRのため、関係団体や医療機関への訪問・通知を実施した。病院・産科婦人科を標榜する医療機関への通知 67施設 ○地域の妊産婦を対象とした妊産婦フォーラムを実施した。3回 参加者45名 <p>イ 平成27年度の業務の実施にあたり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○看護学科・助産学科の優秀な学生を確保するために高等学校、看護師等養成機関に出向き積極的に教育実績をPRした。 ○第1看護学科の定員確保のために、依頼のあった高等学校の進路説明会への参加や病院主催の高校生看護師体験事業への協力を行った。過去の入学生の実績から特別推薦の指定校に米子西高校を追加し、学校訪問を行い進路指導担当者へ説明した。 ○本校への進学を希望する学生を対象とした学校案内を随時(オープンキャンパス以降)実施した。2回 <p>ウ 成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○助産学科と第1看護学科の志願者数はやや減少(助産学科 39名→36名、第1看護学科 81名→76名)した。 第2看護学科の志願者数は減少(53名→41名)した。 ○第1看護学科の特別推薦指定校に米子西高校を追加し3名の席を設けたが、米子西高校からの受験者は0名で、特別推薦の受験生が3名減少した。 <p>エ 課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鳥取県の高校生は減少傾向にある。また、中部地区の学生数は東部・西部地区に比較し少ない。今後も少人数制で手厚い指導が実施できる当校のメリットや国家試験合格状況、就業・進学状況の実績を様々な機会を捉えてPRを継続していく必要がある。 ○平成27年度に看護師養成施設(80名定員が2校)が開校した。少子化のなかで新設校と競合する第1看護学科は、定員確保と優秀な学生を確保するためにも、入試方法を検討する必要がある。
<p>○政策項目 教育の質の向上</p>	<p>2 教育内容の効果的実践</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的</p> <p>看護学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ○看護実践力の向上に重点を置いた「客観的臨床能力試験」「医療安全教育」「統合実習」を実施し、教育内容の充実・強化を図る。 ○多岐にわたる実習施設の指導者と連携を図り、学習支援を充実する。 <p>助産学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ○正常分娩の介助、異常妊産婦・新生児救急に対応するための演習を強化する。 ○現場密着型の講義による地域母子保健学習の充実を図る。

事業名	概	要
	<p>(イ)事業の実施状況</p> <p>看護学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ○客観的臨床能力試験（OSCE）の実施 患者の安全への気遣いと共に、臨床で求められる状況判断に基づいた看護援助実践能力育成のための指導方法を検討し、実施した。 ○医療安全学習の実施 安全な看護を提供できる判断力や実践力を養うために、地域住民に模擬患者を依頼し、多重課題・業務中断の条件下での演習を計画し実施した。 ○統合実習の実施 卒後スムーズに臨床現場に適応するために、学生チームで複数の患者を受持ち、優先度の決定、時間管理が修得できるように、「統合実習」を行った。 <p>助産学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域母子保健学習の強化と演習の充実 助産実習にあたり、施設の実習指導者を招聘し分娩助演習を行った。また、異常妊産婦への対応、新生児の救急に対応できるよう演習を組み入れた。地域で暮らす母子の支援を充実するための講義を追加し、妊産婦を対象とした小集団教育の活動を取り入れ、現場密着型授業を展開した。 <p>共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画的な実習指導者会議の開催 計画的に実習指導者会議を開催し、実習が円滑にできるよう調整を図った。また、実習の成果と課題を共有し、次年度に向けた指導方法を確認した。 <p>イ 平成27年度の実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○OSCEはその場の判断に基づいて、状況に応じた援助が実施できているか評価できるよう平成26年度に改善した評価表を継続活用し、学生の到達度の状況の変化を分析した。医療安全演習は、臨床で用いている物品を活用し、より実践に即した状況を想定し演習を行った。統合実習はチームでの看護実践能力の習得に向け、リーダーを中心としたケースカンファレンスを毎日実施した。 ○小児看護学実習施設（子育て総合支援センター）にH28年度新規実習施設として依頼を行った。 ○助産学科は地域の妊産婦を対象とした分娩準備教育の企画・運営を授業に取り入れた。異常妊産婦の診断技術習得のために、超音波診断装置や分娩監視装置を使用した演習を実施した。母子支援の知識向上のために子育て支援の専門職に講義を依頼し、実施した。また、分娩助演習や母子保健の授業に指導者が参加する現場密着型授業を継続して行った。また、新生児の救急に対応できるよう「新生児蘇生法（NCPDR）」に学生の参加を計画した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○統合実習期間に毎日ケースカンファレンスを実施し、リーダー役割の理解につながった。また、受け持ち患者の看護ケアの修正や内容充実につながった。 ○看護学科は平成28年度の新たな実習施設（子育て総合支援センター）を開拓し、実習の受け入れの承諾を得ることができた。 ○助産学科は卒業に必要な正常分娩の介助を、学生一人当たり10例行うことができた。また、地域の妊産婦を対象とした分娩準備教育を3回実施できた。全学生が新生児蘇生法Aコース研修を終了した。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○更なる教育内容の充実に向けて、各実習施設と綿密な連携を図り、効果的な実習が展開できるように課題を整理し、改善していくことが必要である。 	

7 収入証紙取扱額調べ

(平成27年12月31日現在)

収入科目		件数	単価	証紙はりつけ額	備考
目	節				
衛生手数料	衛生手数料	152	2,600	395,200	平成28年度入試 助産学科 第1看護学科 第2看護学科 36名 75名 41名
	看護師等養成施設試験手数料	70	5,550	388,500	平成27年度入学 助産学科 第1看護学科 第2看護学科 15名 35名 20名
	看護師等養成施設卒業証明書 発行手数料	20	420	8,400	
	計(節)	242		792,100	
	目計	242		792,100	
	合計	242		792,100	

8 収入事務処理状況調べ

- (1) 分担金及び負担金 該当なし
(2) 使用料

(平成27年12月31日現在) (単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	備考
目	節						
衛生使用料	倉吉総合看護専門 門学校授業料	1,927	18,113,800	12,201,200	0	5,912,600	根拠法令等
	目計	1,927	18,113,800	12,201,200	0	5,912,600	看護師等養成施設設置条例
行政財産使用料	行政財産使用料	30	800,751	800,751	0	0	鳥取県行政財産使用料条例
	目計	30	800,751	800,751	0	0	
	合計	1,957	18,914,551	13,001,951	0	5,912,600	

(3) 手数料

(平成27年12月31日現在) (単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	備考
目	節						
衛生手数料	看護師等養成施設試験手数料	1	2,600	2,600	0	0	根拠法令等
	看護師等養成施設卒業証明書 発行手数料	14	5,880	5,880	0	0	看護師等養成施設設置条例
	目計	15	8,480	8,480	0	0	鳥取県手数料徴収条例
	合計	15	8,480	8,480	0	0	

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入

(平成27年12月31日現在) (単位:円)

収入目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
延滞金	延滞金		4	568	568	0	0	延滞金徴収条例	授業料に係る延滞金
		目計	4	568	568	0	0		
雑入	雑入		129	1,975,663	1,975,663	0	0	公有財産事務取扱要領	療光熱水費
			4	25,982	25,982	0	0		自販機電気代
			1	6,783	6,783	0	0		工事に係る電気代
			1	269	269	0	0		複写機電気代
目計		135	2,008,697	2,008,697	0	0			
合計		139	2,009,265	2,009,265	0	0			

(6) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況

(平成27年12月31日現在) (単位:円)

収入科目(節)	収入済額	備考
看護師等養成施設試験手数料	2,600	
看護養成施設卒業証明発行手数料	5,880	
合計	8,480 (15件)	

イ つり銭の状況 該当なし

9 収入未済額調べ

(平成27年12月31日現在) (単位:円)

収入科目	区分	過年度				現年度分			収入未済額 計 A+B	未理由	
		前年度以前からの繰越額	左のうち の収入額	不納欠損額	収入未済額 A	収入未済額	収入未済額 B	調定額			
											収入未済額の調定年度内訳
目	節	細節	24年度以前	25年度	26年度						
衛生使用料	倉吉総合看護専門学校授業料						18,113,800	12,201,200	5,912,600	5,903,200円 9,400円	納期限未到来 平成27年12月8日督促
	目計						18,113,800	12,201,200	5,912,600	5,912,600	
	合計						18,113,800	12,201,200	5,912,600	5,912,600	

10 未収金回収促進のための取組状況調べ 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

1 2 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金		(平成27年12月31日現在) (単位:円)				
予算科目 (目)	予算令運額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額 (規約、要領等を含む)
倉吉総合看護専 門学校費	—	—	—	—	—	—
新規以外のもの 目 計						425,996 425,996
合 計						425,996

(2) 補助金 該 当 な し

(3) 交付金 該 当 な し

(4) 委託料

(平成27年12月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国 単 県 の 別	委託料の 名 称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完 了 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	契約年月日 契約額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
倉古総合看護 専門学校校費	単 県	庁舎警備	ALSOK 山陰(株)	(H27.3.31)	H27.4.1~ H28.3.31	H27.3.17外 (免除)	H27.4.30 外	精算	H27.5.12 外	207,360	文書ID 14-00182912	
				311,040	()	随	H27.5.1 外					
				(H27.3.26)	H27.4.1~ H28.3.31	H27.3.18 (免除)	H27.7.18					
				221,680	()	随	H27.7.22					
一般廃棄物 処理	単 県	前庭管理	(有)辰巳園	(H27.3.27)	H27.4.1~ H28.3.31	H27.3.18外 (免除)	H27.4.30 外	精算	H27.5.15 外	122,400	文書ID 14-00181048	
				183,600	()	随	H27.5.1 外					
				(H27.6.2)	H27.6.2~ H27.12.31	H27.5.11 (免除)	H27.6.10					
				280,000	()	随						
P C B 含有 機器廃棄	単 県	P C B 含有 機器廃棄	三光(株)	(H27.6.2)	H27.6.2~ H27.12.31	H27.5.11 (免除)	H27.6.10	精算	H27.6.17	253,800	文書ID 15-00034036	
				280,000	()	随						
予定価格が20万円 未満のもの												
目 計										231,660		
児童福祉施設費	単 県	一般廃棄物 処理	(株)クラエー	(H27.3.27)	H27.4.1~ H28.3.31	H27.3.18外 (免除)	H27.4.30 外	精算	H27.5.15 外	57,600	文書ID 14-00181048 上記一般廃棄物処 理委託と合わせて 廃棄	
				87,000	()	随	H27.5.1 外					
予定価格が20万円 未満のもの												
目 計										57,600		
計										1,012,820		

13 工事請負費調べ
該 当 な し

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産
了 土 地

(平成27年12月31日現在)

行政・ 普通財産 の区分	機関名又は 施設名等	所 在 地	前 年 度 末		本 年 度 異 動 状 況						本 年 度 末		備 考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
行政 財産	倉吉総合看 護専門学校	倉吉市 南昭和町15	-	-	増加	H27.4.28	11,220.88	234,245,095	所屬換	H	11,220.88	234,245,095		
合計					減少	H	11,220.88	234,245,095			11,220.88	234,245,095		

イ 建物

(平成27年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末			本年度異動状況						差引		備考
			目	面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減 理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	本館	倉吉市南昭和町15	974.50	101,144,000	増	H27.4.28	1,690.33	175,441,000	所属換	H	2,664.83	276,585,000		
	大会議室・浴槽・機械室	"	314.19	34,692,000	増	H27.4.28	128.20	14,156,000	所属換	H	442.39	48,848,000		
	寄宿舎	"	1,520.93	167,558,000	増	H27.4.28	302.40	33,315,000	所属換	H	1,823.33	200,873,000		
	物干場	"	54.00	748,000		H				H	54.00	748,000		
	701号カス庫・機械室	"	14.40	360,000		H				H	14.40	360,000		
	自転車置場	"	13.50	510,000		H				H	13.50	510,000		
	体育館	"	245.29	25,266,225	増	H27.4.28	219.51	21,053,748	所属換	H	464.80	46,319,973		価額は、体育館価額に含まれる。
	渡り廊下	"	18.14	-		H				H	18.14	-		価額は、実習棟価額に含まれる。
	実習棟	"	395.38	68,847,043							395.38	68,847,043		
	渡り廊下	"	17.20	-							17.20	-		
計	自転車置場1	"	-	-	増	H27.4.28	13.50	495,000	所属換		13.50	495,000		
	自転車置場2	"	-	-	増	H27.4.28	9.00	400,000	所属換		9.00	400,000		
	倉庫	"	-	-	増	H27.4.28	29.17	1,690,000	所属換		29.17	1,690,000		
計		3,567.53	399,125,268			2,392.11	246,550,748			5,959.64	645,676,016			
普通財産		-	-		H				H	-	-			
計					H				H					
合計			3,567.53	399,125,268			2,392.11	246,550,748			5,959.64	645,676,016		

ウ 山林 該当なし
 エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし
 オ 物権 該当なし
 カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし
 キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況
 ア 金券の受払状況

(平成27年12月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		差引	備考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	89,655円	71,356	89,997	71,014	
合計	89,655	71,356	89,997	71,014	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成27年12月31日現在)

前年度未使用枚数	本年度中		差引未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
枚	枚	不使用及び処分枚	枚
138	300	285枚 267,120円	19 134

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物
了
了

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	コンクリート柱	倉吉市南昭和町15	4本	H25.2.21	H15.3.31	H25.4.1~H30.3.31	月額・年額 6,000	6,000	倉吉市駄経寺245-6 中国電力(株)倉吉営業所長
合計								6,000	

(平成27年12月31日現在)

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	サービス棟自動販売機	倉吉市南昭和町15	1.1306㎡	H26.3.20	H26.3.20	H26.4.1~H30.3.31	月額・年額 19,920	19,920	鳥取市行徳1丁目351-2 鳥取ベブシコーラ販売(株) 代表取締役
	図書室複写機設置	同上	0.40㎡	H27.3.12	H20.4.1	H27.4.1~H28.3.31	月額・年額 免除	免除	倉吉総合看護専門学校後援会 長
合計								19,920	

(平成27年12月31日現在)

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ
(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場
了
了

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	倉吉市南昭和町15	9.9	3,766
普通財産			

イ 異動状況
(行政財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免 人	人	うち減免 人	人	うち減免 人	人			
4月	0人		20人		20人			75,320円		
5月	20		1		21			79,086円		
6月	21		1		22			82,852円		
7月	22	1			21			82,852円		
8月	21				21			79,086円		
9月	21				21			79,086円		
10月	21				21			79,086円		
11月	21	1			21			82,852円		
12月	21				21			79,086円		
1月										
2月										
3月										
合計								719,306円	719,306円	0円

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

(平成27年12月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本 年 度		備 考
					車 検 年 月 日	修 理 費 等	
軽自動車 (貨物)	H14	鳥取41い9647	保管換 H24.1.13	km 39,866	-	4,320 円	
合 計		1 台				4,320	

19 寄附物件の受納状況調べ

該 当 な し

20 備品の処分状況調べ

該 当 な し

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
 (1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成27年12月31日現在)

現金、有価証券又は物品名	数量	金額	亡失、損傷年月日、時	同左場所	同左概要	報告年月日	会計局の審査結果
ノートパソコン	1台	24,700円	H27.7.13 午後5時頃	教務室	マウスのケーブルを挟んで閉じた。液晶パネルが白くなっていった。	H27.7.27	故意又は過失無し
合計		24,700円					

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個数
平成27年11月24日 ～ 平成27年12月31日	・有 ・無	—	—

看護専門学校個別事項

2.2 当該年度における業務の概要

(1) 学校のPR、地域貢献（主な事業に記載）

学校のPR、地域貢献を積極的に行い、学生の確保を図る。

- オープンキャンパスの実施 1回 参加者102名
- 県内高校・看護学校へ学校PRのための訪問の実施 施設数 23施設
- 医師会、医療機関等への社会人入学制度PRのための通知の実施
- 進学相談会等への参加 5回 参加者数 65名

志願者数（推薦・社会人含む。）

（ ）内は定員

年度	助産学科	第1看護学科	第2看護学科
21	43 (16)	76 (25)	35 (20)
22	60 (16)	114 (25)	42 (20)
23	43 (16)	125 (35)	31 (20)
24	52 (16)	100 (35)	48 (20)
25	38 (16)	133 (35)	47 (20)
26	55 (16)	108 (35)	38 (20)
27	39 (16)	81 (35)	53 (20)
28	36 (16)	76 (35)	41 (20)

※平成21年度から助産学科(助産師課程)を新設し、定員を変更(定員20名→16名)

※平成23年度から第1看護学科を定員増(定員25名→35名)

推薦入学・社会人入学の状況

学 科	推薦入学試験			社会人入学試験		
	募集数	推薦者	合格者	募集数	志願者	合格者
助産学科	6	1	1	3	7	3
第1看護学科	18	12	9	—	—	—
第2看護学科	3	3	3	4	4	0

(2) 教育環境の整備（地域医療介護総合確保基金）

○在宅用電動ベッド：594千円、産科シミュレーター：1,296千円、母性総合シミュレーター：2,268千円

(3) 看護教育の充実

新たに導入した教育内容の充実を図る。

○全ての学科において、平成23年度から新カリキュラムに移行。（主な事業に記載）

1) 看護学科

* 客観的臨床能力試験（OSCE）の充実

平成22年度から導入したOSCEを、患者の状況観察を基にした判断や援助の提供につなげられるように変更・実施した。評価結果を基に、学生の課題をフィードバックできるよう評価表を改善した。

* 安全な看護を提供できる判断力や実践力を養うための医療安全の学習内容を「看護の統合と実践」の科目に位置づけ、より臨床の状況に近い教材を使用して実施した。

* 卒後スムーズに臨床現場に適応するために、チームで複数患者を受持ち、優先度の決定、時間管理を体験する「統合実習(90時間)」(平成23年度開始)を見直しし、実施した。

2) 助産学科

* 安全な分娩介助ができるよう、実習前の分娩介助演習に2施設の实習指導者を招聘した。また、分娩介助

の技術チェックを学生ごとに実施し、到達度を把握した。異常妊産婦への対応、新生児の救急に対応できるよう超音波診断装置や分娩開始装置を用いた演習を実施した。「新生児蘇生法（NCPFR）」に学生の参加を計画した。

- * 正常な分娩介助が学べるよう診療所での実習を行った。
 - * コミュニケーション能力及び小集団指導の企画・運営能力の向上のために、地域の妊産婦を対象とした分娩準備教育を企画・運営した。
 - * 地域母子保健の授業に指導者が参加する現場密着型授業を行った。
 - * 全国の助産師学校でも取り組みが少ない思春期の学童（小学校）を対象にした「命の教育」を実践した。
- 全国的に注目されている講師を招いて魅力ある授業を実施し、教育の質の向上を図る。

助産学科 日程 平成28年1月7日
 講演 「保健医療関係者に対するDV解決・支援トレーニングの教育」
 講師 神戸市看護大学助産学専攻科 教授 高田昌代

(4) 実習体制の整備

実習体制を整備し、教育内容の充実を図る。

- 今年度新たに開拓した実習施設(看護学科：介護老人保健施設及び保育所)での実習がスムーズにできるように実習前の施設との協議を行い、連絡調整を密に行った。
- 実習開始直前に受け入れ困難となった施設の代替となる小児保育施設を開拓し、計画通り実習ができるよう調整を行った。また、次年度に向け、小児看護学実習施設として育児支援センターを開拓し、実習受け入れの承諾を得た。
- 実習指導者会を定期的開催し、実習指導者と教員の連絡調整をきめ細かく実施した。
- 実習施設や実習指導者の教育への理解を深めるために、実習指導者養成講習会の講師や実習施設等の研修への協力を積極的に行った。

(5) 国家試験対策の強化

○国家試験対策として、特別授業や模擬試験を実施し、知識の定着とエビデンス(科学的根拠)の強化を図る。

【参考：平成26年度国家試験合格状況】

学 科	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	全国合格率(%)
助 産 学 科	15	15	100.0	99.9
第 1 看 護 学 科	34	31	91.1	90.0
第 2 看 護 学 科	20	20	100.0	

(6) その他の教育

○人権教育の実施(看護学科)

ア 研修旅行(7/2~7/3) 長島愛生園、人と防災未来センター見学

イ 人権関係講義の実施

講演：「インターネットと人権」

講師：鳥取県ケータイ・インターネット教育推進委員 法務省人権擁護委員 今度珠美

対象：新入生 5月14日 75名

○専門的学術集会等への参加(助産学科)

ア 第11回ICMアジア太平洋地域会議・助産学術集会参加(7/20~7/22) パシフィコ横浜

イ 第34回鳥取県母性衛生学会学術講演会参加(1/28) 鳥取市

(7) スクールカウンセラーの配置(平成19年度から配置)

毎週月曜日 午後4時~5時30分 利用者数 実人員 3人 延べ10人(H27.12月現在)

(8) 教員研修の実施

日 時：平成27年8月12日

講 演：「シミュレーション学習の実際」

講 師：鳥取大学医学部 特命助教 三好雅之

参加者：教員18名、実習指導者等34名 計52名

(9) 教員の研究・地域貢献活動等

①鳥取県立厚生病院院内研修

講師：教務主幹 西川淳子

テーマ：「ヘンダーソン看護理論の概要」

日時：平成27年5月15日 平成27年6月5日

対象：厚生病院看護師クリニカルラダーⅡ受講生25名

②鳥取県立厚生病院院内研修

講師：教務主幹 西川淳子

テーマ：「学生指導」

日時：平成27年7月17日

対象：厚生病院看護師クリニカルラダーⅢ受講生16名

③第1回 鳥取県実習指導者養成講習会

講義：教務課長 初田玲子、教務主幹 西川淳子、教務主任 石前紅子、教務主任 石尾由美

演習：教務主任 河口和子、講師 岡本志保

日時：平成27年7月23日～9月17日

④鳥取県立厚生病院院内看護研究支援

講師：教務課長 初田玲子

日時：平成27年5月8日・9日・11日 看護師16組

平成27年8月29日 看護師16組

平成27年11月21日 看護師14組

平成28年1月30日 講評

⑤鳥取県立中央病院院内看護研究支援

講師：教務課長 初田玲子

日時：平成27年6月20日 看護師 15組

平成27年8月8日 看護師 15組

平成28年2月20日 講評

⑥倉吉市ファミリー・サポート・センター提供会員養成講座

講師：講師 橋井美紀

テーマ：「子どもの安全と病気／病気の子どもの世話」

日時：平成27年7月21日

対象：ファミリー・サポート・センター提供会員2名 保育士1名

⑦平成27年度看護職員再就業支援研修

講師：副校長 中田映子

テーマ：「認知症を中心とした高齢者の看護」

日時：平成27年9月11日

対象：未就業・就業後1年未満の学習を希望する看護職有資格者9名

⑧平成27年度看護職員実習指導者フォローアップ研修会

講師：副校長 中田映子

テーマ：当校（看護師等養成校）が求める実習

日時：平成27年11月19日

対象：看護職員実習指導者42名

23 学生の入退学等移動状況調べ

(単位：人) (平成27年12月31日現在)

区分	入学進級 直後の 学生数	月別異動状況														差引 現在数	備考	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計				
第1看護学科	休学	37															35	
	退学		1	1														
	復学																	
	除籍																	
	休学	33														33		
	退学																	
	復学																	
	除籍																	
	休学	37		1												37		
退学																		
復学																		
除籍																		
第2看護学科	休学	20														20		
	退学																	
	復学																	
	除籍																	
	休学	20													20			
	退学																	
復学																		
除籍																		
助産学科	休学	16													15			
	退学										1							
	復学																	
	除籍																	
合計	休学	新入・進級者 163		1										1	160			
	退学		1	1							1			3				
	復学																	
	除籍																	

※ () 書きは、外数

2.4 学校卒業者の就職等状況調べ

(単位：人) (平成27年12月31日現在)

区分		就職						計	進学	その他	合計	備考
		県内			県外							
		公的医療機関	民間医療機関	その他	公的医療機関	民間医療機関	その他					
第1看護学科	平成23年度	13	6	—	1	—	—	20	3	—	23	
	平成24年度	10	5	—	—	—	—	15	5	—	20	
	平成25年度	19	6	—	—	4	—	29	4	2	35	
	平成26年度	17	7	—	1	1	—	26	4	4	34	
	平成27年度	13	18	—	—	2	—	33	1	1	35	
第2看護学科	平成23年度	7	12	—	—	1	—	20	1	—	21	
	平成24年度	10	9	—	—	1	—	20	—	—	20	
	平成25年度	2	13	—	1	1	—	17	—	1	18	
	平成26年度	5	13	—	—	—	—	18	2	—	20	
	平成27年度	6	12	—	—	—	—	18	—	2	20	
助産学科	平成23年度	5	2	—	3	5	—	15	—	—	15	
	平成24年度	8	—	—	4	3	—	15	—	1	16	
	平成25年度	5	2	—	1	8	—	16	—	—	16	
	平成26年度	6	3	—	4	2	—	15	—	1	16	
	平成27年度	9	2	—	2	2	—	15	—	—	15	
合計	平成23年度	25	20	—	4	6	—	55	4	—	59	
	平成24年度	28	14	—	4	4	—	50	5	1	56	
	平成25年度	26	21	—	2	13	—	62	4	3	69	
	平成26年度	28	23	—	5	3	—	59	6	5	70	
	平成27年度	28	32	—	2	4	—	66	1	3	70	

2.5 教育計画とその実績

(単位：時間) (平成27年3月31日)

学科名等	基準	第1学年		第2学年		第3学年		計	計	計	
		計画	実績A	計画	実績B	計A+B	計画				実績C
第1看護学科	第1学年	学 科	990	1,009							
		実習課程	135	135							
	第2学年	学 科	750		757						
		実習課程	315		315						
	第3学年	学 科	225					226			
実習課程		585					585				
第2看護学科	第1学年	学 科	1,185	1,185							
		実習課程	135	135							
	第2学年	学 科	285		285						
		実習課程	585		585						
助産学科	学 科	600	626								
	実習課程	495	495								

* 基準欄の数値は学則で定めた時間

2.6 主な施設の整備状況調べ

○本館トイレ改修工事：10,163千円 (地域医療介護総合確保基金)

27 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

- 第1看護学科の学生定員の増により、平成25年度には第1看護学科の学生が全体で30名増加した。平成25年度に第1看護学科の講師1名が定数増となったが、奨学金や修学資金の手続き、外部講師謝金の支出負担行為、図書室の管理、寮の管理等の多くの教務事務を担っている。引き続き、教員が教育に専念できる体制を整えていただきたい。
- 平成27年度に産休・育休を取得する講師が4名あり、看護教員の有資格者を代替職員として確保することができず、一般事務職員と看護師経験者を非常勤職員として臨時採用し、業務遂行に努めた。平成28年度も引き続き3名の育休取得講師がある。教育レベルを維持して専門職を育成するために、看護教員の有資格者を確保できるような人事管理・配置をお願いしたい。
- 助産学科は現在教員3名の体制で運営している。実習施設6施設のうち1施設は東部地区にある。夜間も実習施設に出向き、分娩介助の指導を行っている。また、地域での育児支援実習には教員の動向が必要である。効果的な学習支援のために教員の定数増をお願いしたい。平成28年度は専任教員の1名が育児休暇となる。助産師教員の有資格者の補充ができない場合、教育内容や指導密度の低下が危惧される。有資格者の人事配置をお願いしたい。

(2) 監査委員事務局に対する要望等 該当なし